

9TH FURNITURE DESIGN CONTEST 2018

第9回 家具デザインコンテスト 2018
2018年9月1日(土)～12月31日(月)

家具の本質に迫ったデザイン募集します。

テーマ① 自由

テーマ② 大分県産素材を活用したデザイン

テーマ③ 積層造形を用いたデザイン

● グランプリ ¥300,000-

○ 準グランプリ ¥ 50,000-

○ オーディエンス賞 ¥ 20,000-

JGDSA

NPO法人 日本総合デザインサポート協会

家具デザインコンテストは今回で9回を迎え、我々の思想と共鳴する提案的な家具デザインの具現化に挑み、過去コンテストの計10作品は商品化され世界へ羽ばたこうとしています。

当協会の活動拠点である大分県は、九州地方の東部に位置し、東は豊後水道を隔てて四国と向かい合う穏やかな地域です。この地に住んだ先人たちは豊後国大分の風土と深く向き合いながら暮らしてきました。この地で育まれた産業はこの地の素材を使い長い年月をかけ丁寧に積み上げられ、磨かれ、我々が生きる現代へつながっています。大分県の代表的な伝統産業の一つ「竹産業」を例にするとすれば、この地域でとれる繊維が強くしなやかさが特徴である真竹を素材として使用し、カゴやバッグなど日用品が県内各地で作られてきました。その中でも別府竹細工は歴史が古く、室町時代が始まりだと言われています。それぞれの地域には真竹の竹林があり、製竹所があり、竹細工の工房があるといった具合に、一つの地域で完結するものづくりの仕組みがあります。川沿いで竹職人が作業する風景や、竹の割れる音、素材となる真竹が工房に立てかけてある風景は、この地域らしさを感じる要素の一つとなっています。しかし20世紀型的大量生産消費社会の影響を受け、それまでの竹産業による需要は減り続け、竹産業は著しく衰退しました。これは竹産業だけに限った話ではないことは言うまでもありません。当協会の設立理念には地域の伝統技術の継承が大きく関係しています。

次に、当協会の伝統産業へのアプローチをご紹介します。ブランド「HOZO」の特徴的な技術として積層法があります。この技術により第1回家具デザインコンテストの受賞作品「いのちのかたちをしたローテーブル」、第4回受賞作品「BUNBUN」、「CAVE TABLE」が具現化され、ブランド「HOZO」の広告塔となっています。この積層式の家具は、地域の伝統産業を支えてきた職人とデザイナー、エンジニアなど様々な領域に携わる専門家が協働して未知なるモノづくりに挑んだ成果です。

デザイナーの発想と地域の伝統産業を支えてきた職人の手仕事の結びつきには未知数の可能性が潜んでおり、協働でモノづくりをすることの価値を実感しています。このような活動が異業種やデジタル技術、伝統技術とを結ぶ架け橋となり、地場産業の発展と繁栄に繋がることを願っています。

家具デザインコンテストのテーマは選択制です。表層だけではなく、本質に迫ったデザインを募集します。

NPO法人日本総合デザインサポート協会
理事長 田中信悟

応募要項	
募集内容	テーマ① 自由 テーマ② 大分県産素材を使用したデザイン ※使用素材指定あり テーマ③ 積層造形を用いたデザイン
応募資格	不問（個人またはグループで複数応募可）
使用素材	自由 ※テーマ②は除く。
審査基準	1. アイデアが斬新であること 2. デザイナーの個性が反映されているもの 3. 造形美が感じられるもの 4. 永く愛用できるもの 5. コンセプトが明確なもの
賞の種類	グランプリ賞 1点 賞金30万円 準グランプリ賞 1点 賞金5万円 オーディエンス賞 1点 賞金2万円 +全賞商品化検討・ロイヤリティ契約
応募期間	2018年9月1日（土）～12月31日（月） ※当日消印有効

※場合により別途賞を授与することがあります。
※該当作品がない場合各賞の数を変更されることがあります。
※他のコンテストとの併願はご遠慮ください。
※国内外で未発表、または製品化していないデザインに限ります。

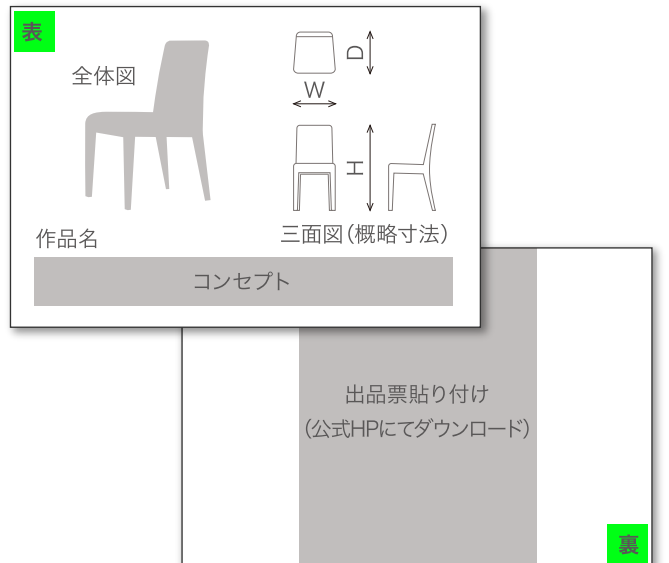
コンテストフロー

1次審査	2019年2月下旬 有識者による受賞候補作品の選出（10点程度）
↓	
2次審査	2019年3月下旬 公式サイトにて一般投票
↓	
最終審査	2019年4月下旬 再度入賞者の検討
↓	
最終結果	2019年5月下旬 公式サイトにて発表
↓	
商品化	未定

※2次審査一般投票の上位の作品が「オーディエンス賞」となります。
※日程は変更される場合がございます。

応募方法

- A3 (H297mm×W420mm) / 横 / 片面 ※1枚のみ有効
A3用紙1枚に、以下の必須項目を自由に表現してください。
必要に応じて、必須項目を追加しても構いません。
裏面には、出品票を縦に貼り付けてください。
- 必須項目：作品名 / コンセプト / 全体図 / 三面図
- 記入例



▶ <http://www.npo-japan.org/contest/yoko.html>

- ※ コンセプトシートは返却いたしませんので予めご了承ください。
- ※ のり付きスチレンボード等の厚みのあるものは貼らないでください。
- ※ 全体図（レンダリング）は、3DCGまたは手描きやモデルの写真等で自由に表現してください。
ご自身のデザインされたものをより分かりやすく伝えるために最適なツールをご利用ください。
- ※ 複数点応募される場合も全ての作品に出品票を貼り付けてください。
- ※ アルファベットと数字の判別をさせてください。例：o(オー)と0(ゼロ)
- ※ ご応募の際に使用できるメールアドレスはPCのみです。
- ※ テーマ②を除き、イスやテーブルなどのインテリアとしての機能を果たすものであれば木材に限らずどの素材を使用しても構いません。
- ※ 受賞後、製品化に向けてのご連絡は個別にご連絡いたします。

テーマ2概要

テーマ②では、「大分県産素材を使用したデザイン」を募集します。

「真竹、日田杉、七島イ、日田石、小鹿田焼、スプリング」の計6素材の中から選び、デザインに使用していることが条件となります。

※必ずしも主の素材として使用する必要はありません。

※テーマ②で応募する際は、出品票の選択テーマ欄にあるテーマ②に必ずチェックを入れてください。

※テーマ単体ではなく全テーマを通しての受賞となります。

1. 真竹 繊維が強くてしなやか

大分県が生産量日本一の真竹は繊維が強くしなやかなため割って細長い板状にすることで竹細工などの加工に適しています。特に引張りには強く、弾力性があり丈夫です。

参考：別府竹製品共同組合青年部

<https://www.beppu-take-kumiai.com>

2. 日田杉(杉) 軽くてしっかりとした木目

日本の固有種で独特の香りがあり、国産木材の中で最も多く生産されており、古来から日本人の生活の中で親しまれています。材質は軽く、木目ははっきりとしており、赤太(心材)の部分と白太(辺材)の色のコントラストがはっきりとしています。

参考：カネサダ横尾木工所

<http://www.hitasugi.com>

3. 七島イ 断面が三角形で丈夫

「七島イ(しつとうい)」は、大分県の国東地方だけで生産されているカヤツリグサ科という植物で、畳の材料となります。似ているもので「イ草」がありますが、イ草の断面は丸いのに対し、七島イは三角の形をしています。

参考：七島イ振興会

<http://shitto.org>

4. 日田石 柔らかく暖かい質感

柔らかく暖かい質感で、落ち着いたグレーの安山岩で、濡れると黒くしっとりとした表情になります。日田周辺の山地で採石され、地域の景観素材として活用されています。

参考：ランアップ株式会社

<http://www.lanup.co.jp>

5. 小鹿田焼(おんたやき) 自然と人の労力の融合

大分県日田市の山間の小鹿田焼地区で焼かれる陶器です。

土づくりから始まるすべての作業を、人の労力と自然の力を使い、丁寧な手作業によって作られる陶器には、素朴であたたかい雰囲気があります。

6. スプリング 自動車や家具に

大分県西部地方では、自動車や家具、ベッドなどに使われるスプリングが作られています。金属の材質や太さ、サイズ、表面処理の方法や塗装などの条件を変える事で様々な用途に利用できる可能性があります。

参考：スプリングの佐竹

<http://www.satakesp.co.jp>

テーマ3概要

テーマ③では「積層造形」を用いたデザインを募集します。

<積層造形とは>

立体物を水平に輪切りにした断面データをもとに、紙・樹脂・粉体などの薄い層を積み上げて立体物を製作する技術。3Dプリンタやレーザーカッターなどに用いられる。(コトバンクより引用)

薄い合板を何層にも重ね、複雑なデザインを形成する方法で、第1回家具デザインコンテスト受賞作品の「いのちのかたちをしたローテーブル」は誕生し、ブランド「HOZO」の広告塔として見る人を魅了し続けています。

また、2016年に商品化した、第4回の受賞デザイナー花岡徳秋氏の作品「BUNBUN」と「CAVE TABLE」などを筆頭に応募作品に積層デザインの提案が多くなったため、テーマ③として新たに「積層造形」を用いたデザインの募集を開始しました。

※積層造形に使用する素材は自由です。

※テーマ単体ではなく全テーマを通しての受賞となります。

商品化について

当家具デザインコンテストでの入賞作品は、オーダー家具ブランド『HOZO』として大分県の職人や企業と協力し商品化しています。

第8回までのコンテスト開催により、計10点は既にネット販売や家具見本市への出展、イベント等を通して世界に羽ばたきつつあります。今後も当家具デザインコンテストで世界中へ日本のあたらしいものづくりを提案していきます。

製品化作品『HOZO』 <http://gallery-hozo.jp>



第4回入賞作品 / BUNBUN / デザイン：花岡 徳秋



第4回応募作品 / CAVE TABLE / デザイン：花岡 徳秋

応募先・お問い合わせ

応募先

NPO法人日本総合デザインサポート協会

〒870-0854 大分県大分市羽屋931-1

お問い合わせ

info@npo-japan.org

対応時間 平日9:00～17:30

※ お問い合わせはメールのみです。

※ 24時間お受けしておりますが、営業日での返信となります。

JGDSA

NPO法人 日本総合デザインサポート協会

www.npo-japan.org